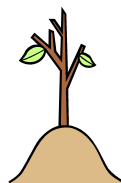


# 種蒔く人

令和4年11月22日  
深田小学校便り 27号



感動創造

人はすべからく、終生の師を持つべし。真に卓越する師を持つ人は、終生道を求めて歩き続ける。その状あたかも、北斗七星をのぞんで航行する船の如し。

哲学者・教育者 森信三

## 起業体験販売会 11/2

学習発表会の際に催した販売会の様子が、11月15日（水）の熊本日日新聞に掲載されました。児童と職員が工夫を凝らし取り組んだことが、紹介され価値付けられて、とてもうれしく思います。児童たちも、これまでの取組や販売の結果などから学ぶものが多かったことと思います。その学びを、これからの生活に生かして行ってくれると期待しています。

## スポーツタイム 11/15

準備運動の後、今回はドッチボールとドッチビー、そしてボール当て鬼をしました。11月でしたが気温が高く、更にしっかり運動したため児童の額には汗が輝いていました。文科省のデータによれば、児童の体力は二極化が進んでいます。適度な運動は、体力増進

エコバッグを保護者らに販売する深田小の児童＝あさぎり町



### 手作りエコバッグ 売れたよ

あさぎり町 深田小児童ら起業体験

深田小（あさぎり町）の「起業体験販売会」が4日、同小であり、地元の農家から仕入れたキュウリや児童手作りのキーホルダーなどを保護者らに販売した。

文部科学省の「起業体験推進事業」の指定を受けた2016年度に始め、今年で7回目。主に3～6年生が総合的な学習の時間などを利用して模擬会社をつくり、仕入れや価格決定、商品の包装まで手がけた。5年生は環境問題をテーマ

に品ぞろえを決めた。児童らはミシンで縫ったエコバッグや、水俣病の学習を通して知った胎児性患者の小規模多機能事業所「ほっとはうす」（水俣市）のマグネットなどを販売。1、2年生は大きな声で商品を紹介した。

5年生の山口頌允君（11）は「バッグをきれいに縫うのが難しかった。予想以上に売れてうれしい」と喜んでいて、益金は学校の備品購入などに充てる。（井田真太郎）

のみならず、ストレス解消など心の健康にも有効なのはご存知のとおりです。

## 第4学年健康教室 11/15

学校医の岩井顯先生に來校いただき、5校時に実施しました。目的は「運動や正しい食習慣についての知識を身に付け、健康な生活習慣の定着を図る」ためです。

4年生は、実践に向け熱心に話を聞いていました。



話を聞く様子